





シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1795秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期		曜日・校時	月1
開講期間				1
必修選択	必		単位数	1.0
時間割コード		590017007	科目番号	05900170
授業科目名	<u> </u>	●ドイツ語 I (La~f·F27~28)		
編集担当教員	_	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下	山下 哲雄		
科目分類	外国語			
対象年次	1年,24	年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]3	302		
対象学生(クラス等)	F27·2	8		
担当教員Eメールアドレス	yamat	etsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤	协講師控室		
担当教員TEL				
担当教員オフィスアワー	2校時	後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツ	語の基本文法を習得し、ドイツ語を	通してドイツに興味を持つ。	
授業方法(学習指導法)	るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。			
授業到達目標	学生な	学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。		
	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。			
	回 内容			
	1	ビデオでドイツを紹介、ドイツ語で	自己紹介	
	2	2 動詞の現在人称変化(1)		
	3	動詞の現在人称変化(2)		
	4	冠詞と名詞(1)		
授業内容	5	冠詞と名詞(2)		
INAL PE	6 第2回から5回までの復習			
	7	7 現在人称変化(3)		
	8	人称代名詞•冠詞類		
	9	定形の位置		
	I	第7回から9回までの復習		
	I—	前置詞		
	12	話法の助動詞		
I	ĮI.	I		ı,

1		
	13 動詞の3基本形(1)	
	14 動詞の3基本形(2)	
	15 第11回から13回までの復習	
	16 第16回 定期試験	
キーワード	一度も発音すればするほどドイツ語は身につく	
教科書·教材·参考書	『気分はドイツ』 著者: 本郷建治 他、(株)三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音·和訳·積極性(10%)	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

△ 戻る	
	Constitute V 2004 2000 NET DATA WALICHT CORPORATION All Pills Proved







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラパス」、開講所属「 $全学教育・全学_ドイツ$ 」 シラバスの詳細は以下となります。

	_		1		
学期	前期		曜日・校時	水1	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110590017009 科目番号 05900170		05900170		
授業科目名	●ドイ♡	●ドイツ語 I (E5~10)			
編集担当教員	仲井	仲井 幹也			
授業担当教員名(科目責任者)	仲井	仲井 幹也			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井	仲井 幹也			
科目分類	外国語	外国語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,24	年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]2	204			
対象学生(クラス等)	E5~1	0			
担当教員Eメールアドレス	m-nak	ai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	経済学	学部本館524研究室			
担当教員TEL	095-82	20-6399			
担当教員オフィスアワー	授業0	D前後			
授業のねらい		授業のねらい:ドイツ語の初級文法を現在時制(+未来形)の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。			
授業方法(学習指導法)		教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明 していく。			
授業到達目標		やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこ なす能力を身につける。			
	しらべ だ問題	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味を しらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含ん だ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解 を見つけることではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。			
	内容				
	1	辞書の説明、発音			
	2	発音、基数と西暦の読み方、現在	人称変化、疑問詞	人称変化、疑問詞	
	3	定冠詞、不定冠詞、格の用法			
	4 不規則動詞、命令形				
	5 定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞				
授業内容	6 名詞の複数形				
	7	nichtとkein、目的語の語順			
	8	前置詞			
	9	形容詞と形容詞の名詞化			
	10	10 話法の助動詞、未来形			
	11	序数と日付の表現			
	12	分離動詞、非分離動詞			
	13	従属接続詞と並列接続詞			
	14	間接疑問文			

	15 ランデスクンデ 16 まとめと定期試験	
キーワード		
教科書·教材·参考書	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、 後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)	
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8~1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

▲ 戻る	
	Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

			1	1	
学期	前期		曜日∙校時	水2	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590017008	科目番号	05900170	
授業科目名	●ドイ:	V語 I (P18~19)			
編集担当教員	葉柳	葉柳 和則			
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳	和則			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳	和則			
科目分類	外国語	外国語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,2	年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]4	102			
対象学生(クラス等)	1年次				
担当教員Eメールアドレス	hayan	agi@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	環境和	斗学部本館4F南側			
担当教員TEL	819-2	739			
担当教員オフィスアワー	金曜日	∃14:30-16:00			
授業のねらい	ドイツ	語の基本を身に付ける			
授業方法(学習指導法)	ポイン	トを押さえた文法解説と実践的練習の)サイクルを軸にする。		
授業到達目標	ドイツ語検定5級合格				
	会話絲	東習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ん	Š.,		
			内容		
	1	アルファベット ¹ 発音の規則			
		2 動詞の現在人称変化			
	2	動詞の現在人称変化			
	I——	動詞の現在人称変化 定動詞の位置			
	I——				
	3	定動詞の位置			
	3	定動詞の位置 名詞の性			
运 拳 内 突	3 4 5	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格)			
授業内容	3 4 5 6	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞			
授業内容	3 4 5 6 7	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞			
授業内容	3 4 5 6 7 8	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形			
授業内容	3 4 5 6 7 8 9	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格			
授業内容	3 4 5 6 7 8 9 10	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格 前置詞			
授業内容	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格 前置詞			
授業内容	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格 前置詞 複文 人称代名詞			
授業内容	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格 前置詞 複文 人称代名詞 二格			
授業内容	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格 前置詞 複文 人称代名詞 二格 再帰動詞 再帰代名詞、			
授業内容	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格 前置詞 複文 人称代名詞 二格 再帰動詞 再帰代名詞、 まとめ 試験	、、ドイツ語検定		
	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	定動詞の位置 名詞の性 格変化(一格、四格) 重要動詞 不規則動詞 複数形 三格 前置詞 複文 人称代名詞 二格 再帰動詞 再帰代名詞、 まとめ	;、ドイツ語検定		

*****	清野 智昭『ドイツ語の時間<話すための文法>改訂版』郁文堂 (2010)	
教科書·教材·参考書	独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)	
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況(30%) 講義中の取り組み方(30%) ○定期試験(40%)	
受講要件(履修条件)	特になし	
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎の基礎	
学習·教育目標	独検5級合格	
備考(URL)	nttp://hayanagi-semi.web.infoseek.co.jp/	
備考(準備学習等)	予習、復習は必須	

**********	= 7	Z
	厌::::::	a:



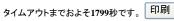




シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』





タイトル「2011年度シラパス」、開講所属「 $全学教育・全学_ドイツ$ 」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	木3	
開講期間				
必修選択	必	単位数	1.0	
時間割コード	20110590017001	科目番号	05900170	
授業科目名	●ドイツ語 I (K25~26)			
編集担当教員	目 正勝			
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝			
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]104			
対象学生(クラス等)	K25·26			
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
担当教員研究室	非常勤講師室			
担当教員TEL	096-322-0277			
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける			
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台つくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を 深める。			
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。			
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
	テキストは14課から成っている。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第7課まで進む。 まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが 続く。分離動詞や再帰動詞の用法まで進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。			
	1 第 1回 文字と発音、アルファベッ	トの名称を覚える。		
 授業内容	2 第 2回 第一課、動詞の現在人称	変化、sein とhaben 。		
	3 第 3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。			
	4 第 4回 第二課、名詞の性・数・格	、定冠詞と不定冠詞。		
	5 第 5回 第二課の続き、名詞の複数			
	6 第 6回 第三課、動詞の現在人称			
	7 第 7回 第三課の続き、練習問題	•		
	 			
	9 第 9回 第四課の続き、練習問題	•		
	 			

	10 第10回 第五課、人称代名詞、前置詞の用法、練習問題。
	11 第11回 第五課の続き、練習問題。
	12 第12回 第六課、話法の助動詞、未来の助動詞。
	13 第13回 第六課の続き、従属接続詞、練習問題。
	14 第14回 第七課、分離動詞、再帰動詞。
	15 7第15回 第七課の続き、非人称動詞、練習問題。
	16 第16回 前期末試験。
キーワード	
教科書·教材·参考書	「怖くはないぞドイツ文法」春日正男、松澤 淳 著、朝日出版社
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。

and the second	
	ு







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

タイムアウトまでおよそ1796秒です。 印刷

『全学教育 』





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	木4	
開講期間				
必修選択	必	単位数	1.0	
時間割コード	20110590017002	科目番号	05900170	
授業科目名	●ドイツ語 I (D16~17)			
編集担当教員	目 正勝			
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝			
科目分類	外国語科目、A科目 外国語	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]104	-	_	
対象学生(クラス等)	D16·17	D16·17		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室	<u> </u>		
担当教員TEL	096-322-0277			
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受けん	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業のねらい	な土台つくる。	テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を		
授業方法(学習指導法)	ならない。	解説と練習問題の演習を併せて進め むする。独作文や和訳では、多くの人		
授業到達目標	ことができる。	tをひと通り身につけ、平易なドイツi なったり、発話したりすることができる	吾文であれば辞書を引きながらでも読んで理解する。	
	テキストは14課から成っている。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第7課まで進む。まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法続く。分離動詞や再帰動詞の用法まで進む。教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければい。発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。 回 内容 1 第 1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。		語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが	
授業内容	2 第 2回 第一課、動詞の現在人称変化、sein とhaben。			
	3 第 3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。			
	4 第 4回 第二課、名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞。			
	5 第 5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。			
	6 第 6回 第三課、動詞の現在人称変化の特殊形、命令文。			
	7 第 7回 第三課の続き	、練習問題。		
	8 第8回 第四課、定冠詞類、不定冠詞類、指示代名詞など。			
	9 第 9回 第四課の続き	、練習問題。		

1	I.
	10 第10回 第五課、人称代名詞、前置詞の用法、練習問題。
	11 第11回 第五課の続き、練習問題。
	12 第12回 第六課、話法の助動詞、未来の助動詞。
	13 第13回 第六課の続き、従属接続詞、練習問題。
	14 第14回 第七課、分離動詞、再帰動詞。
	15 第15回 第七課の続き、非人称動詞、練習問題。
	16 第16回 前期末試験。
キーワード	
教科書·教材·参考書	「魔法使いのつぶやき ―練習で学ぼう、キラめくドイツ語―」 春日正男、松澤 淳 著、 同学社
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。

**********	= 7	Z
	厌::::::	a:







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期		曜日·校時	木5
開講期間	11-3 /41		E IVE	710
必修選択	必		単位数	1.0
時間割コード	201105900170	03	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (M		1	
編集担当教員	目正勝			
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝			
科目分類	外国語科目、4			
対象年次	1年,2年,3年,4	 年	講義形態	演習科目
教室	[全]104			
対象学生(クラス等)	M13~15			
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb	biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室			
担当教員TEL	096-322-0277			
担当教員オフィスアワー	質問等はメール	質問等はメールで随時受け付ける		
授業のねらい	発音から始めて、文の構造、文法、語彙など、ドイツ語の「読む、聞く、話す」を総合的に学習する。テキストのドイツ語文 の解説や練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、そうしてドイツ語文読解のための確実な土台を作る。			
授業方法(学習指導法)		• • •		ってゆく。単語については、よく調べておかなければ 、多くの人に発表の機会があるようにする。
授業到達目標		読める。初級文法をひと通り 簡単な会話文であれば、聞		吾文であれば辞書を引きながらでも読んで理解する ることができる。
	まず発音規則 続く。分離動詞 教室では、文法 い。	を覚え込むことから始め、そ や再帰動詞の用法まで進 もの説明のあと、練習問題 化を繰り返し繰り返し練習	たの後、名詞や動詞などの む。 にできるだけ多く取り組む	のペースで、前期は第6課まで進む。 語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが。 。前もって単語の意味を調べておかなければならな
	0		内容	
	1 第 1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。			
	2 第 2回 第零課、ドイツ語のあいさつ、数詞、第一課。			
	3 第 3回	第一課の続き、本文和訓	マ、人称代名詞、動詞の現	在人称変化、疑問詞、練習問題。
授業内容	4 第 4回 第二課、本文和訳、名詞と冠詞、名詞の性、語順。			
	5 第 5回 第二課の続き、決定疑問文と答え方、数詞、練習問題。			
	6 第 6回 第二課の続き、第三課、本文和訳、定冠詞と名詞の格変化、名詞の複数形。			
	7 第 7回 第三課の続き、並列の接続詞、練習問題。			
	8 第8回 第三課の続き、第四課、本文和訳、不定冠詞、所有冠詞、否定冠詞。			
	9 第9回 第四課の続き、不定冠詞類、練習問題。			
	10 第10回 第四課の続き、第五課、本文和訳、現在人称変化の不規則な動詞、名詞の3格。			
	11 第11回 第五課の続き、練習問題。			
	12 第12回	第五課の続き、第六課、	本文和訳、現在人称変化	の不規則な動詞(2)。
l				

l i	
	13 第13回 第六課の続き、人称代名詞、非人称のes、練習問題。
	14 第14回 第六課の続き、補足練習問題(小冊子)。
	15 第15回 第六課の続き、補足練習問題(小冊子)。
	16 第16回 前期末試験
キーワード	
教科書·教材·参考書	「ドイツ語インフォメーション <新訂版>」 秋田静男、江口陽子 他 著、 朝日出版社
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。

▲ 戻 る	
← `⊘.	







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1793秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期		曜日・校時	金3	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590017004	科目番号	05900170	
授業科目名	●ドイ♡	●ドイツ語 I (M11~12)			
編集担当教員	古賀	正之			
授業担当教員名(科目責任者)	古賀	正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀	正之			
科目分類	外国語	外国語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,2年,3年,4年 講義形態 演習科目				
教室	[全]2	[全]203			
対象学生(クラス等)	M11 ·	M11·12			
担当教員Eメールアドレス					
担当教員研究室	非常勤	非常勤講師控室			
担当教員TEL	095-8	095-819-2078(全学教育事務室)			
担当教員オフィスアワー	金曜日	金曜日休み時間(教室内のみ)			
授業のねらい	パで最	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。			
授業方法(学習指導法)	また、		さらに練習問題の反復によって基本文法 音に慣れることです。既習の語彙と文法		
授業到達目標	ドイツ と。	語Ιで学習する教科書の内容の6割	引の部分を完全に理解し、それをほぼ正	確に使いこなす能力を身につけるこ	
	1、発	音 2、初級文法 3、コミュニケーシ	ョン 4、文化・社会事情		
	回		内容		
	1	第 1回 4月8日 挨拶、姓名、出身	地、住所及び年齢を尋ね、それに答える	5 (自己紹介)	
	2	第 2回 4月15日 アルファベット 🤅	発音 現在人称変化 I 規則動詞 不	規則動詞sein	
授業内容	3 第 3回 4月22日 疑問詞のある疑問文 Ja/Neinで答える疑問文				
	4 第 4回 5月6日 余暇について尋ね、それに答える				
	5 第 5回 5月13日 現在人称変化Ⅱ 不規則動詞haben 否定疑問文の用法				
	6 第 6回 5月20日 動詞の名詞化 語順 否定詞nichtの位置				
	7 第 7回 5月27日 持ち物について尋ね、それに答える				
	8 第8回 6月3日 名詞の性 定冠詞 不定冠詞				
	9 第9回 6月10日 否定冠詞 所有冠詞				
	10 第10回 6月17日 人称代名詞の1格と4格 名詞の複数形				
	11 第11回 6月24日 家族について尋ね、それに答える				
	12 第12回 7月1日 格変化 人称代名詞の3格				
	13 第13回 7月8日 否定詞nichtと否定冠詞kein				
	14 第14回 7月15日 買い物について尋ね、それに答える				
	15 第15回 7月22日 dieserとwelcher 指示代名詞 非人称主語es				
		 			

	16 第16回 7月29日または8月5日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書·教材·参考書	教科書「入門ドイツ語プラクティッシュ」 三宅・コッホ 三修社 独和辞典は当面は不要です。教科書のみ必ず購入してください。
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表および小テストの結果(50%)で評価します。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる文法項目と表現の意味を確認しておくことが望ましい。

▲ 戻る	
	Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日•校時	金4	
字期 開講期間	Hijtel	唯日"饮时] 	
必修選択	必	N		
時間割コード		科目番号	0.5000170	
	20110590017005	件日番号	05900170	
授業科目名	●ドイツ語 I (T23A~24B)			
編集担当教員	古賀正之			
授業担当教員名(科目責任者)	古賀正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀正之			
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		·	
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]203			
対象学生(クラス等)	T23A~24B			
担当教員Eメールアドレス				
担当教員研究室	非常勤講師控室			
担当教員TEL	095-819-2078(非常勤講師控室)			
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)			
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あ わせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。			
授業方法(学習指導法)	実際に演じてもらう。その際に表現の基	ヽて、キーセンテンスを用いてパートナー間↑ ・礎となる重要な文法事項について分かり易 点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と₹	く説明する。また、基本文法確認レポ	
授業到達目標	ドイツ語 I で学習する教科書の内容の	6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケー	-ション 4、文化·社会事情		
		内容		
授業内容	1 第 1回 4月8日 つづり字の読	み方と発音 挨拶をする		
	2 第 2回 4月15日 "			
	3 第 3回 4月22日 動詞の人称	変化、文の作り方 知り合いになる		
	4 第 4回 5月6日 "			
	5 第 5回 5月13日 文法上の性と	格 食べ物の注文をする		
	6 第6回 5月20日 "			
	7 第7回 5月27日 冠詞類 買い物の相談をする			
	8 第 8回 6月3日 "			
	9 第 9回 6月10日 不規則変化動	加詞、命令形 食事の相談をする		
	10 第10回 6月17日 "			
	11 第11回 6月24日 前置詞の格支配 どこに行くか尋ねる			
	12 第12回 7月1日 "			
	12 第12回 7月1日 " 13 第13回 7月8日 複数形 市場で果物などを買う			
	14 第14回 7月15日 " 15 第15回 7月22日 前期のまとめ(文法の補足)			
	13 7713E1 /7122E1 HIMIVISCO			
I	li I		Ų	

	16 第16回目 7月29日または8月5日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書·教材·参考書	「新生ドイツ文法」 V5 在間進 朝日出版社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。

	▲ 戻る	
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.		Convigint (c) 2004-2009 NTT DATA KVIISHII CORPORATION All Rights Reserved







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期		曜日・校時	金5	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590017006	科目番号	05900170	
授業科目名	●ドイ♡	V語 I (T20A~22A)			
編集担当教員	古賀	正之			
授業担当教員名(科目責任者)	古賀	正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀	正之			
科目分類	外国語	日科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,24	丰 ,3 年 ,4 年	講義形態	演習科目	
教室	[全]2	03			
対象学生(クラス等)	T20A	~22A			
担当教員Eメールアドレス					
担当教員研究室	非常菫	肋講師控室			
担当教員TEL	095-81	9-2078(全学教育事務室)			
担当教員オフィスアワー	金曜日	日休み時間(教室内のみ)			
授業のねらい		ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あ わせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。			
授業方法(学習指導法)	実際に ートを	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。			
授業到達目標	ドイツ	ドイツ語「で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける			
	1、発 ⁻	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情			
			内容		
			1)/人と知り合う/紹介(名前・出身地・) 代名詞/動詞の現在人称変化(規則動)	*	
	2	第 2回 4月15日 "			
	3	第 3回 4月22日 "			
	第4回 5月6日 テーマ:時刻/あいさつ(2)/時を表す表現(1)/人を誘う/アドレスとケータイ番号を尋ねる/ 食べ物と飲み物/メール 文法:動詞の現在人称変化(haben、不規則動詞)/ドイツ語の語順(定動詞第2位の原則、疑問文の語順)				
授業内容	5	第 5回 5月13日 "			
	6	第 6回 5月20日 "			
	7	持ってない?	は方・答え方/位置・方向を表す語/建 生/定冠詞と不定冠詞/冠詞と名詞の枠		
	8	第 8回 6月3日 "			
	9	第 9回 6月10日 "			
	10	第10回 6月17日 "			
	第11回 6月24日 テーマ:買い物/値段/プレゼント/気に入った?/家族・親戚				

1			
	11 文法:名詞と冠詞の3格/複数形/人称代名詞の格変化/前置詞(1)/否定の語を含む疑問文とその答え方		
	12 第12回 7月1日		
	13 第13回 7月8日 "		
	14 第14回 7月15日 "		
	15 第15回 7月22日 前期のまとめ(文法の補足等を含む)		
	16 第16回目 7月29日または8月5日 定期試験		
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書·教材·参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」 CD付き 飯田/江口 三修社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ			
学習·教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		









シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日•校時	月1	
開講期間				
必修選択	必	単位数	1.0	
時間割コード	20110590019016	科目番号	05900190	
授業科目名	F27~28)			
編集担当教員	山下 哲雄			
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄			
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]302			
対象学生(クラス等)	F27·28			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp			
担当教員研究室	非常勤講師控室			
担当教員TEL				
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
授業のねらい	初級文法を習得し、授業で憶えた語彙を使い、二人一組のパートナーに自分の一日の出来事をドイツ語で話し、パート ナーがそれについての質問をし、さらにそれに答えることです。			
授業方法(学習指導法)	二人一組でドイツ語会話を繰り返し、音に慣なれる。			
授業到達目標	学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。			
授業内容	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。 回			

キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく
教科書·教材·参考書	『気分はドイツ』 著者: 本郷建治 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音·和訳·積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

▲ 戻る				
	0 11.//2004.00/	O NITT DI TI VITTOVI CODI	OD LETON AND L. D	1







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日・校時	水1	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590019018	科目番号	05900190	
授業科目名	●ドイ:	V語 II (E5~10)	•	•	
編集担当教員	仲井	幹也			
授業担当教員名(科目責任者)	仲井	幹也			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井	幹也			
科目分類	外国語	語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,2	年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]2	:04			
対象学生(クラス等)	E5~1	0			
担当教員Eメールアドレス	m-nak	ai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	経済	学部本館524研究室			
担当教員TEL	095-82	20-6399			
担当教員オフィスアワー	授業0	D前後			
授業のねらい	た道川	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況(0.8~1.2)に反映させます。			
授業方法(学習指導法)		教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。			
授業到達目標		やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけることではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。				
	回	117			
	1 動詞の三基本形、過去				
	2 現在完了				
	3 過去完了、未来完了				
	4 再帰動詞				
· 拉娄内克	5 zu不定詞				
授業内容	6 esの用法				
	7 比較				
	8 受動態				
	9 関係代名詞				
	10 指示代名詞				
	11 不定関係代名詞、関係副詞				
	12 接続法(1)				
	13	接続法(2)			
	ĮI I				

1	harana a	
	14 ランデスクンデ	
	15 総復習	
	16 総復習と定期試験	
キーワード		
教科書·教材·参考書	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社	
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8~1.2=成績)従て授業をおろそかにする人は、試験が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

25	戻	්ත l







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日·校時	水2
開講期間	及州 唯口·饮吋 水乙		77-2
必修選択	必 単位数 1.0		
時間割コード	20110590019017	科目番号	05900190
授業科目名		17日田万	03900190
	●ドイツ語 II (P18~19)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		Tubane i a
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14:30-16:00		
授業のねらい	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業方法(学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習	のサイクルを軸にする。	
授業到達目標	ドイツ語検定4級合格		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。 回 内容 1 冠詞類 2 zu不定詞 3 分離動詞 4 話法の助動詞 5 過去形 6 現在完了形 7 受動態 8 形容詞の格変化 9 比較級と最上級 10 関係代名詞 11 命令形 12 接続法 13 会話練習 14 会話練習 15 まとめ		
キーワード	16 試験		
	清野 智昭『ドイツ語の時間<話すための文法>改訂版』郁文堂 (2010)		

教科書·教材·参考書	独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況(30%) 講義中の取り組み方(30%) ○定期試験(40%)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎の基礎
学習·教育目標	独検5級合格
備考(URL)	http://hayanagi-semi.web.infoseek.co.jp/
備考(準備学習等)	予習、復習は必須

	· · · Z · ·

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

https://nuweb.jimu.nagasaki-u.ac.jp/syllabus2/syllabusReferenceContentsInit.do;LcSe... 2011/03/14







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1793秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日·校時	木3	
開講期間				
必修選択	必	単位数	1.0	
時間割コード	20110590019010	科目番号	05900190	
授業科目名	●ドイツ語 II (K25~26)			
編集担当教員	目 正勝			
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝			
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]204			
対象学生(クラス等)	K25·26			
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
担当教員研究室	非常勤講師室			
担当教員TEL	096-322-0277			
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける			
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実 な土台つくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を 深める。			
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければ ならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。			
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容	前期に引き続いて、テキストに従って進む。 過去、現在完了では、動詞の三基本形を覚える。形容詞の格変化、関係代名詞、受動態などを学んだ後、形容詞の比較級、最高級の用法へと進む。仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。 回 内容 1 第1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。 2 第 2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。 3 第 3回 第九課、動詞の3基本形。 4 第 4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。 5 第 5回 第十課、完了、haben支配と sein支配。 6 第 6回 第十課の続き、現在完了と過去完了、練習問題。 7 第 7回 第十一課、定関係代名詞。			
	8 第 8回 第十一課の続き、不定関係代名詞、練習問題。 9 第 9回 第十二課、比較級と最高級、現在分詞。			

1	
	10 第10回 第十二課の続き、zu不定詞、練習問題。
	11 第11回 第十三課、受動態、能動文と受動文。
	12 第12回 第十三課の続き、状態受動、練習問題。
	13 第13回 第十四課、接続法、要求話法、間接話法。
	14 第14回 第十四課の続き、非現実話法、練習問題。
	15 第15回 第十四課の続き、非現実話法、補足練習問題。
	16 第16回 後期末試験。
キーワード	
キーワード 教科書・教材・参考書	「怖くはないぞドイツ文法」春日正男、松澤 淳 著、朝日出版社
	「怖くはないぞドイツ文法」 春日正男、松澤 淳 著、朝日出版社 定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
教科書·教材·参考書	
教科書・教材・参考書 成績評価の方法・基準等	
教科書・教材・参考書 成績評価の方法・基準等 受講要件(履修条件)	
教科書・教材・参考書 成績評価の方法・基準等 受講要件(履修条件) 本科目の位置づけ	

CCC
戻…:る:
22







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日·校時	木4		
開講期間						
必修選択	必		単位数	1.0		
時間割コード	20110	590019011	科目番号	05900190		
授業科目名	●ドイ′:	ソ語 II (D16~17)				
編集担当教員	目	正勝				
授業担当教員名(科目責任者)	目	正勝				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目	正勝				
科目分類	外国語	吾科目、A科目 外国語 初習				
対象年次	1年,2	年,3年,4年	講義形態	演習科目		
教室	[全]2	204				
対象学生(クラス等)	D16·1	17				
担当教員Eメールアドレス	mksak	kka@xqb.biglobe.ne.jp				
担当教員研究室	非常勤	协講師室				
担当教員TEL	096-3	22-0277				
担当教員オフィスアワー	質問等	等はメールで随時受け付ける				
授業のねらい	例文の な土台 テキス	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実 な土台つくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を 深める。				
授業方法(学習指導法)	ならな	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。				
授業到達目標	ことが	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解する ことができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。				
	過較に触る	発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。				
	₩	112				
	-	1 第 1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。				
授業内容	⊪—	2 第 2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。				
	3	第 3回 第九課、動詞の3基本形。	とし			
	4	4 第 4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。				
	1	5 第 5回 第十課、完了、haben支配とsein支配。				
	6	第 6回 第十課の続き、現在完了と				
	7	第 7回 第十一課、定関係代名詞。				
		第 8回 第十一課の続き、不定関係				
	9	第 9回 第十二課、比較級と最高総	及、現在分詞。 			
I	h ,					

1			
	10 第10回 第十二課の続き、zu不定詞、練習問題。		
	11 第11回 第十三課、受動態、能動文と受動文。		
	12 第12回 第十三課の続き、状態受動、練習問題。		
	13 第13回 第十四課、接続法、要求話法、間接話法。		
	14 第14回 第十四課の続き、非現実話法、練習問題。		
	15 第15回 第十四課の続き、非現実話法、補足練習問題。		
	16 第16回 後期末試験。		
キーワード			
教科書·教材·参考書	「魔法使いのつぶやき ―練習で学ぼう、キラめくドイツ語―」 春日正男、松澤 淳 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習·教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		

 -	-7
	1.6
 <i>/</i> ~::	







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラパス」、開講所属「全学教育-全学教育_ドイツ語」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日•校時	木5		
開講期間	区別		PE H TX PT	I***		
必修選択	ıi.	必 単位数 1.0				
時間割コード	+	500010012				
授業科目名	+	20110590019012 科目番号 05900190				
編集担当教員	+	ソ語 I(M13~15) 正勝				
授業担当教員名(科目責任者)	+	""" 正勝				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	+	<u> </u>				
科目分類	+	 				
対象年次	+	年.3年.4年	講義形態	演習科目		
教室	[全]2					
対象学生(クラス等)	M13~					
担当教員Eメールアドレス	mksak	ka@xqb.biglobe.ne.jp				
担当教員研究室	_					
担当教員TEL	096-3	22-0277				
担当教員オフィスアワー	質問等	等はメールで随時受け付ける				
授業のねらい		発音から始めて、文の構造、文法、語彙など、ドイツ語の「読む、聞く、話す」を総合的に学習する。テキストのドイツ語文の解説や練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、そうしてドイツ語文読解のための確実な土台を作る。				
授業方法(学習指導法)		テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。				
授業到達目標		正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解する ことができる。簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。				
	前置記 習する 教室で い。 発音や	後期は第七課から十二課まで。 前置詞や話法の助動詞を学んだあと、分離動詞や形容詞の格変化へと進む。動詞の三基本形は特に時間をかけて学習する。その後、現在完了へと進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。				
			内容			
	1	第 1回 第七課、本文の和訳、前間	置詞、融合形。			
	2 第 2回 第七課の続き、数詞、練習問題。					
	3	第 3回 第七課の続き、第八課、本	文の和訳、話法の助動詞。			
授業内容	4	4 第 4回 第八課の続き、助動詞の意味の補足、数詞、練習問題。				
	5	第 5回 第八課の続き、第九課、本	文の和訳、分離動詞、命令形			
	6	6 第6回 第九課の続き、時刻表現、練習問題。				
		7 第 7回 第九課の続き、第十課、本文の和訳、形容詞の格変化。				
		8 第8回 第十課の続き、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。				
		9 第 9回 第十課の続き、第十一課、本文の和訳、動詞の三基本形。				
	10	第10回 第十一課の続き、三基本	形、過去人称変化、従属の接続	詞、練習問題。		
	11 第11回 第十一課の続き、第十二課、本文の和訳、現在完了。					
	12	12 第12回 第十二課の続き、分離動詞の現在完了、練習問題。				

1	1	
	13 第13回 第十二課の続き、過去と現在完了、練習問題。	
	14 第14回 第十二課の続き、文法の補足および補足練習問題(小冊子)。	
	15 第15回 文法の補足および補足練習問題(小冊子)。	
	16 第16回 後期末試験	
キーワード		
教科書·教材·参考書	「ドイツ語インフォメーション <新訂版>」 秋田静男、江口陽子 他 著、朝日出版社	
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	

P
)大 (3)







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日・校時	金3	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110590019013		科目番号	05900190	
授業科目名	●ドイ♡	V語Ⅱ(M11~12)			
編集担当教員	古賀	正之			
授業担当教員名(科目責任者)	古賀	正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀	正之			
科目分類	外国語	百科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,25	年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]2	03			
対象学生(クラス等)	M11•	12			
担当教員Eメールアドレス					
担当教員研究室	非常勤	肋講師控室			
担当教員TEL	095-8	19-2078(全学教育事務室)			
担当教員オフィスアワー	金曜E	日休み時間(教室内のみ)			
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。				
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本文法とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り練習によってドイツ語の発音に慣れることです。既習の語彙と文法事項の定着を図るため、小テスト行うことがあります。				
授業到達目標	ドイツ語 I で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につけること。				
	1、発·	1、発音 2、初級文法、3、コミュニケーション、4、文化・社会事情			
	回		内容		
	1	1 第1回 10月7日 一日のできごとについて尋ね、それに答える			
	2	2回 10月14日 分離動詞 非分離動詞 命令形			
	3	第 3回 10月21日 ショッピングセン	ンターでの質問と答え		
	4	第 4回 10月28日 話法の助動詞	manの用法		
	5	第 5回 11月4日 町での質問と答	え		
	6	第 6回 11月11日 場所と方向を表	長す前置詞+3格か4格(1)		
 授業内容	7	第 7回 11月18日 一日のできごと	(過去)について尋ね、それに答える		
	8 第 8回 11月25日 seinとhabenの過去人称変化 現在完了形(1)				
	9 第 9回 12月2日 旅行について尋ね、それに答える				
	10 第10回 12月9日 行き先と場所を表す前置詞+3格か4格(2)				
		11 第11回 12月16日 現在完了形(2)			
	12	12 第12回 1月6日 文法の補足 I 形容詞の形 (形容詞の格変化)			
	13 第13回 1月20日 文法の補足II 人や事物を比べる表現(比較級・最高級)				
		14 第14回 1月27日 文法の補足皿「~される」ことを表す動詞の形(受動形)			
	15 第15回 2月3日 文法の補足Ⅳ 副文をつくる接続詞 (従属接続詞)				
	 				

	16 第16回目 2月10日または2月17日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書·教材·参考書	教科書「入門ドイツ語プラクティッシュ」 三宅・コッホ 三修社
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表および小テストの結果(50%)で評価します。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる文法項目と表現の意味を確認しておくことが望ましい。

▲ 戻る	
	Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1792秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日•校時	金4	
開講期間				
必修選択	必	単位数	1.0	
時間割コード	20110590019014	科目番号	05900190	
授業科目名	●ドイツ語 II (T23A~24B)	1	ı	
編集担当教員	古賀 正之			
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之			
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習			
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]203	•		
対象学生(クラス等)	T23A~24B			
担当教員Eメールアドレス				
担当教員研究室	非常勤講師控室			
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)			
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)			
授業のねらい		-し、接続法を除くほぼすべての初級文法事 ま話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。			
授業到達目標	ドイツ語 Ⅱ で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケー	ション 4、文化・社会事情		
		内容		
	1 第1回 10月7日 形容詞の格変	化、人称代名詞 空腹などを訴える		
	2 第 2回 10月14日 "			
	3 第 3回 10月21日 話法の助動詞	司、未来形 外出に誘う		
	4 第 4回 10月28日 "			
	5 第 5回 11月4日 分離動詞、再射	帚代名詞、再帰動詞 駅で列車の出発時	刻などを尋ねる	
	6 第6回 11月11日 "			
 授業内容	7 第 7回 11月18日 ZU不定詞	相談にのってくれるように頼む 比較表	現 物事を比べる	
	8 第 8回 11月25日 "			
	9 第 9回 12月2日 三基本形、過去	去人称変化、接続詞 ぶつぶつ文句を言	·5	
	10 第10回 12月9日 "			
	11 第11回 12月16日 現在完了形、	. 過去完了形 何をしたかを尋ねる 		
	12 第12回 1月6日 "			
		引待される 関係文 休暇の計画を立て 	<u> </u>	
	14 第14回 1月27日 "			
	15 第15回 2月3日 後期のまとめ(文法の補足) 		
	JI I		Į.	

	16 第16回目 2月10日または2月17日 定期試験		
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書·教材·参考書	「新生ドイツ文法」 V5 在間進 朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ			
学習·教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.
Copyright (c) 2004-2007 NTT DATA KT OSHO COKI OKATION. Ali Kighis Keserved.







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日•校時	金5	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590019015	科目番号	05900190	
授業科目名	●ドイツ語 I (T20A~22A)				
編集担当教員	古賀 正之				
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之				
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習				
対象年次	1年,2年,3年,4年 講義形態 演習科目		演習科目		
教室	[全]2	:03			
対象学生(クラス等)	T20A~22A				
担当教員Eメールアドレス					
担当教員研究室	非常勤	非常勤講師控室			
担当教員TEL	095-8	095-819-2078(全学教育事務室)			
担当教員オフィスアワー	金曜日	金曜日休み時間(教室内のみ)			
授業のねらい		ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。			
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。				
授業到達目標	ドイツ	語Ⅱで学習する教科書の内容の6割	割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確	 笙に使いこなす能力を身につける。	
	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情				
	回		内容		
	1		木暇の予定/天候/一日の行動・日常生 非人称のes/日常生活で使う分離動詞/		
	2	第 2回 10月14日 "			
	3	第 3回 10月21日 "			
授業内容	4	第 4回 10月28日 テーマ:過去の)できごと(1)/時を表す表現(2) 文法:過	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	5	第 5回 11月4日 "			
	6	第6回 11月11日 "			
	7	第 7回 11月18日 テーマ:過去の 形/過去時制/前置詞(2)/es gil)できごと(2)/位置の表現/~がある/返 bt…	屋刻/メルヒェン 文法:過去基本	
	8	第 8回 11月25日 "			
	9	第 9回 12月2日 テーマ:修理/覧名詞と再帰動詞/比較級・最上級	家事/開店時間・閉店時間/料理/比較 :	の表現 文法:受動文/再帰代	
	10	第10回 12月9日 "			
	11	第11回 12月16日 "			
	12	第12回 1月6日 テーマ:ふたつの /関係文)文をひとつにする/病気/色 文法::	zu不定詞句/従属の接続詞と副文	

	13 第13回 1月20日 "	
	10 M10EE 2710E67E617E AMBRIA	
キーワード	正確な発音と初級文法の習得	
教科書·教材·参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」CD付き 飯田/江口 三修社	
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。	
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。	
本科目の位置づけ		
学習·教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。	

	=	
-	/~·····α/-	







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期		曜日∙校時	月2	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590021023	科目番号	05900210	
授業科目名	●ドイ	V語Ⅲ(2M11)		•	
編集担当教員	山下	哲雄			
授業担当教員名(科目責任者)	山下	哲雄			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下	山下 哲雄			
科目分類	B科目	外国語 初習、外国語科目			
対象年次	2年,3	年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]3	302			
対象学生(クラス等)	2M11	·12			
担当教員Eメールアドレス	yamat	etsu@mrd.biglobe.ne.jp			
担当教員研究室	非常勤	肋講師控室			
担当教員TEL					
担当教員オフィスアワー	2校時	後の昼休み、3校時後の休み時間			
授業のねらい	ドイツ	の文化、習慣、環境問題などをドイツ。	人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の	り中に出る初級文法の復習をし、会話	内容を理解し、滑らかに発話で	きるように発音練習をする。	
授業到達目標	学生だ	バこの授業でドイツの生活・文化を理 解	ぱし、ドイツに興味を持ち、ドイツ	へ留学したいと思えるようになること。	
授業内容	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	で記得を実現する。 ビデオでドイツを紹介、自己紹介 自分の一日の生活 旅行 空港、駅の窓口 レストランで注文する 食事の勘定を支払う ペンションを電話で予約する 郵便局はどこですか この近くにスーパーはありますか 日本への手紙はいくらですか そちらの天気はどうですか 雨が降れば、何をしますか 誕生日に辞書をプレゼントしたらいし カメラ店で ドイツのお祝い 定期試験	内容		
キーワード	何度#	<u></u>	 つく		
 · · · · 	1.7.2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- •		

教科書·教材·参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音·和訳·積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

▲ 戻る	
	Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日∙校時	月3	
開講期間		I	L	
必修選択	必	単位数	1.0	
時間割コード	20110590021024	科目番号	05900210	
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2D16~17·2T20A~21A	A)	<u>'</u>	
編集担当教員	山下 哲雄			
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄			
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目			
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]302	-		
対象学生(クラス等)	2M11·12			
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp			
担当教員研究室	非常勤講師控室			
担当教員TEL				
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時	間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などを	ドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし	、会話内容を理解し、滑らかに	発話できるように発音練習をする。	
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化	とを理解し、ドイツに興味を持ち.	、ドイツへ留学したいと思えるようになること。	
授業内容	言語の習得を実現する。 回 1 ビデオでドイツを紹介、自己紹 2 自分の一日の生活 3 旅行 4 空港、駅の窓口 5 レストランで注文する 6 食事の勘定を支払う 7 ペンションを電話で予約する 8 郵便局はどこですか 9 この近くにスーパーはあります 10 日本への手紙はいくらですか 11 そちらの天気はどうですか 12 雨が降れば、何をしますか 13 誕生日に辞書をプレゼントした 14 カメラ店で 15 ドイツのお祝い	-か		
	16 定期試験			
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語に	よ身につく		

教科書·教材·参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音·和訳·積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

▲ 戻る	
	Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラパス」、開講所属「 $全学教育・全学_ドイツ$ 」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期		曜日∙校時	火2	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590021021	科目番号	05900210	
授業科目名	●ドイ:	V語Ⅲ(2M12·2K25~26)			
編集担当教員	清原	清原 明代			
授業担当教員名(科目責任者)	清原	清原 明代			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原	清原 明代			
科目分類	B科目	外国語 初習、外国語科目			
対象年次	2年,3	年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]1	04			
対象学生(クラス等)	2M12	2K			
担当教員Eメールアドレス	kiyoha	nra_akiyo@yahoo.co.jp			
担当教員研究室	非常勤	肋講師控室			
担当教員TEL					
担当教員オフィスアワー	授業前	前後の休み時間。またはEメールに	て。		
授業のねらい	ップを	ドイツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルア ップを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている〈出来事〉への関心を高めていってもら いたいと考えています。			
授業方法(学習指導法)		教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。二回目以降は数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行って もらいます。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っておいてください(授業内容・成績評価項目参照)。			
授業到達目標		内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。			
	前期は第5章まで読み進めます。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。 【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の〈正しさ〉よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。				
	回		内容		
	1	第1回(4月12日)授業の説明。第	1章【第21回冬季オリンピック】前半。		
	2	第2回(4月16日※土曜日※)第1章	後半。		
授業内容	3	第3回(4月19日)第1章確認問題。	文法練習問題(動詞の三基本形等)。		
	4	第4回(4月26日)第2章【第19回サ	ッカーW杯】前半。		
	5	第5回(5月10日)第2章後半。			
	6	第6回(5月17日)第2章確認問題。	, 文法練習問題(冠詞の格変化等)。		
	7	第7回(5月24日)第3章【ノーベル:	文学賞/ヘルタ・ミュラー】前半。		
	8	第8回(6月7日)第3章後半。			
	9	第9回(6月14日)第3章確認問題。	文法練習問題(haben支配·sein支配等)。		
	10	第10回(6月21日)第4章【第55回二	1一ロヴィジョン歌謡大賞】前半。		
	11	第11回(6月28日)第4章後半。			
	 				

1		,	
	12	第12回(7月5日)第4章確認問題。文法練習問題(動詞の人称変化等)。	
	13	第13回(7月12日)第5章【ギリシャの財政危機】前半。	
	14	第14回(7月19日)第5章後半。	
	15	第15回(7月26日)第5章確認問題。文法練習問題(人称代名詞、関係代名詞等)。	
	16	第16回(8月2日)定期試験	
キーワード			
教科書·教材·参考書	アンド	アンドレア・ラープ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。	
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した 学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。	
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習·教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			

1124		
	学 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	٦.
_	DC	,







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期		曜日・校時	火3	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590021022	科目番号	05900210	
授業科目名	●ドイ:	V語Ⅲ(2T21B~23B)			
編集担当教員	清原	清原 明代			
授業担当教員名(科目責任者)	清原	清原 明代			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原	清原 明代			
科目分類	B科目	外国語 初習、外国語科目			
対象年次	2年,3	年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]1	04			
対象学生(クラス等)	2T21E	3∼23B			
担当教員Eメールアドレス	kiyoha	nra_akiyo@yahoo.co.jp			
担当教員研究室	非常勤	协講師控室			
担当教員TEL					
担当教員オフィスアワー	授業前	前後の休み時間。またはEメールに	て。		
授業のねらい	ップを	ドイツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルア ップを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている〈出来事〉への関心を高めていってもら いたいと考えています。			
授業方法(学習指導法)		教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。二回目以降は数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行って もらいます。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っておいてください(授業内容・成績評価項目参照)。			
授業到達目標		内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。			
	前期は第5章まで読み進めます。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。 【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の〈正しさ〉よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。				
	回		内容		
	1	第1回(4月12日)授業の説明。第	1章【第21回冬季オリンピック】前半。		
	2	第2回(4月16日※土曜日※)第1章	後半。		
授業内容	3	第3回(4月19日)第1章確認問題。	文法練習問題(動詞の三基本形等)。		
	4	第4回(4月26日)第2章【第19回サ	ッカーW杯】前半。		
	5	第5回(5月10日)第2章後半。			
	6	第6回(5月17日)第2章確認問題。	文法練習問題(冠詞の格変化等)。		
	7	第7回(5月24日)第3章【ノーベル)	文学賞/ヘルタ・ミュラー】前半。		
	8	第8回(6月7日)第3章後半。			
	9	第9回(6月14日)第3章確認問題。	文法練習問題(haben支配·sein支配等)。		
	10	第10回(6月21日)第4章【第55回二	Lーロヴィジョン歌謡大賞】前半。		
	11	第11回(6月28日)第4章後半。			
]	 				

1		,	
	12	第12回(7月5日)第4章確認問題。文法練習問題(動詞の人称変化等)。	
	13	第13回(7月12日)第5章【ギリシャの財政危機】前半。	
	14	第14回(7月19日)第5章後半。	
	15	第15回(7月26日)第5章確認問題。文法練習問題(人称代名詞、関係代名詞等)。	
	16	第16回(8月2日)定期試験	
キーワード			
教科書·教材·参考書	アンド	アンドレア・ラープ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。	
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した 学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。	
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習·教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			

1124		
	学 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	٦.
_	DC	,







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	木2		
開講期間		1	1 .		
必修選択	必	単位数	1.0		
時間割コード	20110590021019	科目番号	05900210		
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2E5~10)				
編集担当教員	目正勝				
授業担当教員名(科目責任者)					
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目正勝				
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目				
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目		
教室	[全]104				
対象学生(クラス等)	2E5~10				
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp				
担当教員研究室	非常勤講師室				
担当教員TEL	096-322-0277				
担当教員オフィスアワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp				
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしながら、応用段階へと進む。 多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。				
授業方法(学習指導法)	様々な散文、物語文のドイツ語を読む。 テキストは中級ドイツ語への橋渡し的なもので、文法の再確認とドイツ語文章の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。プリントによって数編の読み物を適宜補足する。 教室では毎回4~5人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこなければならない。 できるだけ多くの人に文法や独作文の練習問題の答えを発表してもらう。				
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに 力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。				
	テキストは12課+終章、つまり13~14の章に分かれている。前期は7課まで。したがって大体2回の授業で1課を終えるペースで進む。 それぞれの課の本文を、前もって当てておいた3~4人の人に訳してもらう。そして本文の後にある文法練習、表現練習、また本文の内容についての読解問題については、できるだけ多くの人に答えを発表する機会があるようにする。テキストはとくに独作文、ドイツ語表現に重点を置いている。 折に触れてレポートを課す。また関連する読み物を読む。				
	回				
	1 第 1回 第一課、「トイレでノックするな」を読む、~がある/いる、es gibt +4格とes ist の違い。				
授業内容	2 第 2回 第一課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。				
	3 第 3回 第二課、「ドイツ人と音 ―音楽かならずしも楽音ならず」を読む、接続法の表現。				
	4 第 4回 第二課の続き、前つづりの意味、練習問題。				
	5 第 5回 第三課、「ドイツ人はケチ?」を読む、造語法、序数と分数。				
	6 第 6回 第三課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。				
	7 第 7回 第四課、「ドイツ人のジョーク」を読む、wissen とkennen、過去分詞の形容詞用法。				
	8 第 8回 第四課の続き、冠飾句、練習問題。				
	9 第 9回 第五課、「割り勘」を読む、	接頭辞と接尾辞。 			
1	I.		''		

1		
	10 第10回 第五課の続き、比較、従属接続詞、練習問題。	
	11 第11回 第六課、「ドイツ人とサンドイッチ」を読む、動詞の不定形、名詞文体。	
	12 第12回 第六課の続き、未来受動分詞の用法、練習問題。	
	13 第13回 第七課、「ドイツ人の時間感覚」を読む、wasの用法。	
	14 第14回 第七課の続き、訳しにくい動詞と名詞、練習問題。	
	15 第15回 第七課の続き、プリントによる補足読み物。	
	16 第16回 前期末試験	
キーワード		
教科書·教材·参考書	「新 ドイツ語読みかた教室 —中級表現練習読本—」 大谷弘道、大谷ウルズラ 著、 三修社	
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	

 -	-7
	1.6
 <i>/</i> ~::	







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラパス」、開講所属「全学教育-全学教育」ドイツ語」 シラバスの詳細は以下となります。

授業到達目標 を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。 さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。					
登録報報	学期	前期	曜日•校時	金2	
特別	開講期間				
接来担当を表	必修選択	必	単位数	1.0	
□ 古夏 正之 日東 日本 日本 日本 日東 日本 日本 日東 日本	時間割コード	20110590021020	科目番号	05900210	
投業担当教員名(科目責任者) 古度 正之 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日	授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2L1~2·2P18~19·2F27~	28)		
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	編集担当教員	古賀 正之			
科目分類	授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之			
対象年次 2年,3年.4年 講義影態 演習科目	授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之			
	科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目			
対象学生 (クラス等)	対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目	
担当教員でメールアドレス 担当教員である 非常勘議師控室 非常勘議師控室 担当教員では、	教室	[全]203		-	
担当教員TEL 995-819-2078(全学教育事務室) 担当教員TEL 995-819-2078(全学教育事務室) 担当教員オフィスアワー 金曜日休み時間(教室内のみ) 現代のドイツは拡大するEU(3ーロッパ遠合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパを最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。 授業方法(学習指導法) 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイン語の発音に関わることです。 ドイツ語 I までに学んだ別教状文店の知識を完富させるともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語画の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。 ドイツ語 II までの既習者を対象に、各回でのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノローグ・砂グ オワローグ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。この授業で使用する教料書はい意から成っており、ドイツ語 II までの既習者を対象に、各回、企見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜態を取り練習を行います。この授業で使用する教料書はい意から成っており、ドイツ語面では前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり8ペープで、イング集の主義を指します。第16回の授業に4月8日に始まり、第15回目の授業(7月22日)まで課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) 1、定期試験の成績(50%)。2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1、各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を受え、そのの授業をか上が表書を表しい会話表現を発え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。 キーワード 秋科書・教材・参考書 (教科書) 「か付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社 1、定期試験の成績(50%)。2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)	対象学生(クラス等)	2L1·2, 2P,2F			
担当教員TEL 095-819-2078(全学教育事務室) 担当教員オフィスアワー 金曜日休み時間(教室内のみ) 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識おいて要素を使いています。 技業方法(学習指導法) 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。 ドイツ語 II までに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限をわた。単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。 ドイツ語 II までの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ (キーセンテンスを中心に作られたモノローグやダイアローグ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に充え、同時に相手から情報を得る練習を行います。この授業で使用する教料書は、はの認から成っており、ドイツ語 II での授業でを終了する予定です。各課とも1課あたり6ペーシで、その構成は次のとおりです。 ・この授業で使用する教料書は、はの歌らなのとおりです。 ・「成績評価・言語行為)ドイツ事情(誘揮デキスト) 復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら書話を使う課題があります。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) ・1、定期試験の成績(50%)、2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1、各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や覚え、それらを含の持定の中で取り扱う場面によわいら会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。 ・本・ワード ・バートナー練習 聴き取り練習 状況に応じた表現練習 教科書・教材・参考書 「教料書・教材・参考書 「教料書・教材・参考書 「教料書・教材・参考書 「教料書・教材・参考書 「教料書・教材・参考書 「教料書・教材・参考書 「教料書・教材・参考書	担当教員Eメールアドレス				
担当教員オフィスアワー 会曜日休み時間、教室内のみ) 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。 授業方法(学習指導法) 学習者同士による日頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。 ドイツ語 II までに学んだ約級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限とれた単語や表現でも、それを手掛りにない文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることをでいたが、知識の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜健認的検討を管管によす。この授業で使用する教料書はい課から成っており、ドイツ語 II までの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノローグやダイアローグ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜健認の検討を管でします。。この授業で使用する教料書はい課から成っており、ドイツ語面では前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その情報は次のとおりです。テーマ(場面・書話行為)ドイツ事情(熱機テキスト)後習文法・フェイスを持続は次のようで、第15回目の授業(7月22日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回の(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) の1、定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学が任金語表現や文法事項を覚え、それもを含むテキストを聴象り、正し書けるかどうか、また。同時にその内容を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどう、という観点から成績を評価します。 「成科書」 「ひ付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社 1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。(具体的には授業内容欄に記載)	担当教員研究室	非常勤講師控室			
現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。 ドイツ語 II までに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている節囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになることです。 ドイツ語 II までの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心)に作られたモローグやダイアローグ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。この授業で使用する教料書はい護から成っており、ドイツ語II では前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたりらん一ジで、その構成は次のとおりです。テーマ(場面・言語行為)ドイツ事情(誘解テキスト)復習文法・学習文法 涅槃教アごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、業しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は4月8日に始まり、第15回目の授業(7月22日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) ・1、定期試験の成績(50%)、2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1、各自当学期15回までの授業で学へがた会話表現や文法・事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2、各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。 キーワード ※科書・教材・参考書 の積書] の4、定期試験の成績(50%)、2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (人体的には授業内容欄に記載)	担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)			
接案のおらい パで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。	担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)			
接案方法(字習指導法) また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。 ドイツ語 I までに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。 ドイツ語 I までの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノローグやダイアローグ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語皿では前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。テーマ(場面・書語行為)ドイツ事情(書語行為)ドイツ事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等イン事情(書語行為)等である。第16回の授業(7月22日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足)の1、定期試験の成績(50%)、2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1、各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2、各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。 「ホーワード 「バートナー練習 聴き取り練習 状況に応じた表現練習 教科書・教材・参考書 「教科書] 「の付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社 「1、定期試験の成績(50%)、2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。(具体的には授業内容欄に記載)	授業のねらい	パで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識お			
授業到達目標 を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。 ドイツ語目での既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノローグやダイアローグ)及 び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜聴き取り練習を行います。この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語皿では前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。テーマ(場面・言語行為)ドイツ事情(誘解テキスト)復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は4月8日に始まり、第15回目の授業(7月22日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) 01. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. 各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。 キーワード パートナー練習 聴き取り練習 状況に応じた表現練習 数科書・教材・参考書 [教料書] CD付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社 成績評価の方法・基準等 (具体的には授業内容欄に記載)	授業方法(学習指導法)				
び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜聴き取り練習を行います。この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語皿では前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。テーマ(場面・言語行為)ドイツ事情(誘解テキスト)復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は4月8日に始まり、第15回目の授業(7月22日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) ・1、定期試験の成績(50%)、2、毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1、各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2、各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。 キーワード **********************************	授業到達目標				
教科書・教材・参考書 [教科書] CD付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社 成績評価の方法・基準等 ○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)	授業内容	び表現の基礎となる文法事項に即してまた、適宜聴き取り練習を行います。この授業で使用する教科書は10課からたり6ページで、その構成は次のとおりてテーマ(場面・言語行為)ドイツ事情(読解テキスト)復習文法・学習文法2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわまり、第15回目の授業(7月22日)まで11期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間での授業で学んだ会話表現や文法事項その内容を把握し、簡潔に記述できるか	また、適宜聴き取り練習を行います。 この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語皿では前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。 テーマ(場面・言語行為) ドイツ事情(誘解テキスト) 復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は4月8日に始まり、第15回目の授業(7月22日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) 01. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. 各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表		
教科書・教材・参考書 CD付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社 成績評価の方法・基準等 ○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)	キーワード	パートナー練習 聴き取り練習 状況に	応じた表現練習		
成績評価の方法·基準等 (具体的には授業内容欄に記載)	教科書·教材·参考書		佐藤·下田 三修社		
受講要件(履修条件) 必要出席回数を上回ること。	成績評価の方法・基準等				
	受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。			

本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。

▲ 戻る	







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラパス」、開講所属「全学教育-全学教育_ドイツ語」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日·校時	月2
開講期間				
必修選択	必		単位数	1.0
時間割コード	20110	590023029	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイ′:	V語Ⅳ(2M11)		
編集担当教員	山下	哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下	哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下	哲雄		
科目分類	B科目	外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3	年 ,4 年	講義形態	演習科目
教室	[全]3	02		
対象学生(クラス等)	2M11	·12		
担当教員Eメールアドレス	yamat	etsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤	加講師控室		
担当教員TEL				
担当教員オフィスアワー	2校時	後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツ	の文化、習慣、環境問題などをドイツ、	人の会話を通して知る。	
授業方法(学習指導法)	会話()中に出る初級文法の復習をし、会話	内容を理解し、滑らかに発記	舌できるように発音練習をする。
授業到達目標	学生#	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	12 13 14 15	第1回 パーティーには何を着ますか 第2回 この白いワンピースをどう思い 第3回 このゴミはどこに捨てますか 第4回 ドイツの学校の環境プロジュ 第5回 ここで犬を放してはいけませ 第6回 何歳になれば、何ができま 第7回 ドイツの義務教育は何年で 第8回 パン屋になるためには、大学 第9回 ドイツの学校 第10回 復活祭には何をしますか 第11回 ドイツの祭りと祝日 第12回 カーニバル 第13回 ドイツと日本の年末年始 第14回 「アドヴェント」とはどういう意 第15回 ビデオでドイツを見る 定期試験	でクト さん すか すか 学へ行く必要はありません	
キーワード	تّا			
7 /- 1	 			

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音·和訳·積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

▲戻る	
	Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1796秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日∙校時	月3
開講期間				1
必修選択	必		単位数	1.0
時間割コード		90023030	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ	語Ⅳ(2D16~17·2T20A~21A)		
編集担当教員	山下			
授業担当教員名(科目責任者)	山下	哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下	哲雄		
科目分類	B科目	外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年	 ≡,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]3	02		'
対象学生(クラス等)	2M11•	12		
担当教員Eメールアドレス	yamate	tsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤	講師控室		
担当教員TEL				
担当教員オフィスアワー	2校時	後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの	D文化、習慣、環境問題などをドイツ。	人の会話を通して知る。	
授業方法(学習指導法)	会話の	中に出る初級文法の復習をし、会話	内容を理解し、滑らかに発話で	きるように発音練習をする。
授業到達目標	学生が	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	\$\displaystyle \displaystyle \displa	第1回 パーティーには何を着ますか 第2回 この白いワンピースをどう思し 第3回 このゴミはどこに捨てますか 第4回 ドイツの学校の環境プロジュ 第5回 ここで犬を放してはいけませ 第6回 何歳になれば、何ができます 第7回 ドイツの義務教育は何年で	内容 。 いますか =-クト tん	、身近な言葉にして言語の習得を実現す
	9 10 11 12 13 14 15	第8回 パン屋になるためには、大学 第9回 ドイツの学校 第10回 復活祭には何をしますか 第11回 ドイツの祭りと祝日 第12回 カーニバル 第13回 ドイツと日本の年末年始 第14回 「アドヴェント」とはどういう意 第15回 ビデオでドイツを見る 定期試験		
キーワード	9 10 11 12 13 14 15	 第9回 ドイツの学校 第10回 復活祭には何をしますか 第11回 ドイツの祭りと祝日 第12回 カーニバル 第13回 ドイツと日本の年末年始 第14回「アドヴェント」とはどういう意 第15回 ビデオでドイツを見る 		

教科書·教材·参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音·和訳·積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習·教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

△戻る	
	Converget (c) 2004-2009 NTT DATA KVIJSHIJ CORPORATION All Rights Reserved







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日•校時	火2
開講期間				
必修選択	必		単位数	1.0
時間割コード	20110	590023027	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイ♡	V語Ⅳ(2M12·2K25~26)		
編集担当教員	清原	明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原	明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原	明代		
科目分類	B科目	外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,34	丰 ,4 年	講義形態	演習科目
教室	[全]4	03		
対象学生(クラス等)	2M12.	2K		
担当教員Eメールアドレス	kiyoha	ra_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤	加講師控室		
担当教員TEL				
担当教員オフィスアワー	授業前	前後の休み時間。またはEメールに	۲.	
授業のねらい	ップを	ドイツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルア ップを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている〈出来事〉への関心を高めていってもら いたいと考えています。		
授業方法(学習指導法)		教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。毎回数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行ってもらいます。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っておいてください(授業内容・成績評価項目参照)。		
授業到達目標		内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。		
	を関で【価訳て加】	授業の進め方は前期と同じです。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。後期は前期よりも内容が複雑・重いものが多いですが、頑張りましょう。 【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の〈正しさ〉よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。		
			内容	
	⊩—		スヴァーゲンのポルシェ買収】前半。 	
授業内容	lI——	第2回(10月11日)第6章後半		
	3		。文法練習問題(形容詞の比較級・最上級	(等)。
	4	第4回(10月25日)第7章【ホルスト	・ケーラー大統領の辞任】前半。 	
	5	第5回(11月1日)第7章後半。		
	6	第6回(11月8日)第7章確認問題。		
	7	第7回(11月15日)第8章【アフガニ	スタン派兵/ドイツ兵襲撃事件】前半。	
	8	第8回(11月22日)第8章後半。		
	9	第9回(11月29日)第8章確認問題	。文法練習問題(動詞の人称変化等)。	
	10	第10回(12月6日)第9章【児童虐待	f問題/政府「円卓会議」 】 前半。	

	11	第11回(12月13日)第9章後半。
	12	第12回(12月20日)第9章確認問題。文法練習問題(定動詞・前置詞の位置等)。
	13	第13回(1月10日)第10章【第5回Germany's Next Topmodel】前半。
	14	第14回(1月17日)第10章後半。
	15	第15回(1月24日)第10章確認問題。文法練習問題(数詞等)。
	16	第16回(1月31日)定期試験
キーワード		
教科書·教材·参考書	アンド	レア・ラープ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

▲ 戻る		
<u>←</u>		
<u>←</u>		







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷





タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日・校時	火3	
開講期間					
必修選択	必		単位数	1.0	
時間割コード	20110	590023028	科目番号	05900230	
授業科目名	●ドイ♡	V語Ⅳ(2T21B~23B)			
編集担当教員	清原	明代			
授業担当教員名(科目責任者)	清原	明代			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原	明代			
科目分類	B科目	外国語 初習、外国語科目			
対象年次	2年,34	年,4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]4	.03			
対象学生(クラス等)	2T21E	3~23B			
担当教員Eメールアドレス	kiyoha	nra_akiyo@yahoo.co.jp			
担当教員研究室	非常勤	力講師控室			
担当教員TEL					
担当教員オフィスアワー	授業前	前後の休み時間。またはEメールに	て。		
授業のねらい	ップを	イツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルア プを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている〈出来事〉への関心を高めていってもら たいと考えています。			
授業方法(学習指導法)		対書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。毎回数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行ってもらいま っただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っておいてください(授業内容・成績評価項目参照)。			
授業到達目標		内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれ ば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。			
	を関で本し出る	授業の進め方は前期と同じです。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。後期は前期よりも内容が複雑・重いものが多いですが、頑張りましょう。 (本文説解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読の出の、正しさ〉よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。			
	回		内容		
	1	第1回(10月4日)第6章【フォルクス	スヴァーゲンのポルシェ買収】前半。		
 授業内容	2	第2回(10月11日)第6章後半			
	3	第3回(10月18日)第6章確認問題	。文法練習問題(形容詞の比較級・最上級	等)。	
	4	第4回(10月25日)第7章【ホルスト	・・ケーラー大統領の辞任】前半。		
	5	第5回(11月1日)第7章後半。			
	6	第6回(11月8日)第7章確認問題。	文法練習問題(接続法等)。		
	7	第7回(11月15日)第8章【アフガニ	スタン派兵/ドイツ兵襲撃事件】前半。		
	8	第8回(11月22日)第8章後半。			
	9	第9回(11月29日)第8章確認問題	。文法練習問題(動詞の人称変化等)。		
	10	第10回(12月6日)第9章【児童虐待	寺問題/政府「円卓会議」】前半。		
				1	

	11	第11回(12月13日)第9章後半。
	12	第12回(12月20日)第9章確認問題。文法練習問題(定動詞・前置詞の位置等)。
	13	第13回(1月10日)第10章【第5回Germany's Next Topmodel】前半。
	14	第14回(1月17日)第10章後半。
	15	第15回(1月24日)第10章確認問題。文法練習問題(数詞等)。
	16	第16回(1月31日)定期試験
キーワード		
教科書·教材·参考書	アンド	レア・ラープ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

▲ 戻る		
<u>←</u>		
<u>←</u>		







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期		曜日•校時	木2
開講期間				
必修選択	必		単位数	1.0
時間割コード	201105900230	25	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語Ⅳ(21	E5~10)		
編集担当教員	目 正勝			
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝			
科目分類	B科目 外国語	吾 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年		講義形態	演習科目
教室	[全]204			
対象学生(クラス等)	2E5~10			
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb	.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室			
担当教員TEL	096-322-0277			
担当教員オフィスアワー	mksakka@xqb	.biglobe.ne.jp		
授業のねらい	多くのドイツ語と。		しながら、応用段階へと進む。 を身につける。また、正しい発音で	で文章を朗読することができるようになるこ
授業方法(学習指導法)	テキストは中級 容としている。 教室では毎回い。	様々な散文、物語文のドイツ語を読む。 テキストは中級ドイツ語への橋渡し的なもので、文法の再確認とドイツ語文章の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。プリントによって数編の読み物を適宜補足する。 教室では毎回4~5人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこなければならない。 できるだけ多くの人に文法や独作文の練習問題の答えを発表してもらう。		
授業到達目標		報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに カをつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
	それぞれの課ででは、また本文の テキストはとく! 折に触れてレア	の本文を、前もって当ててお	いた3~4人の人に訳してもらう。 については、できるだけ多くの人! 直点を置いている。 読み物を読む。	受業で1課を終えるペースで進む。 そして本文の後にある文法練習、表現練 - 答えを発表する機会があるようにする。
			内容	
			記、文の構造、接続法と直説法。 	
	II - I	第八課の続き、形容詞の名		
授業内容	3 第 3回	第九課、「客はどこに座ら	せる?」を読む、機能動詞 	
	4 第 4回	第九課の続き、機能動詞、	練習問題。	
	5 第 5回	第十課、「遅れてきたとき、	どのように着席するのか?」を読	む、動詞(現在分詞)の名詞化。
	6 第 6回	第十課の続き、指示代名詞	司、練習問題。	
	7 第7回	第十一課、「使いやすい表	現と使いにくい表現」を読む、定関	関係代名詞、話法の助動詞。
	8 第 8回	第十一課の続き、従属接続	売詞obwohl、練習問題。	
	9 第 9回	第十二課、「働いてばかり	いられない」を読む、過去分詞の副	则詞的用法。

1		
	10 第10回 第十二課の続き、過去分詞の副詞的用法、練習問題。	
	11 第11回 終章、「あなたのことは、僕が一生、全力でお守りします」を読む。	
	12 第12回 終章の続き。補足練習問題(プリント)	
	13 第13回 終章の続き。補足練習問題(プリント)	
	14 第14回 プリントによる補足読み物	
	15 第15回 プリントによる補足読み物。	
	16 第16回 後期末試験	
キーワード		
教科書·教材·参考書	新 ドイツ語読みかた教室 —中級表現練習読本—」 大谷弘道、大谷ウルズラ 著、 三修社	
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習·教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	

112411	- =		
	1: F		١:
	- //		, ,







シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1793秒です。 印刷



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育・全学_ドイツ」 シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			<u> -</u>
必修選択	<u></u>	単位数	1.0
時間割コード	20110590023026	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語Ⅳ(2L1~2·2P18~19·2F27~2	8)	<u> </u>
編集担当教員		,	
授業担当教員名(科目責任者)			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		1
対象学生(クラス等)	2L1·2, 2P, 2F		
上 担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
上 担当教員TEL	095-819-2078(非常勤講師控室)		
上 担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい		ē合)の政治、経済、文化の中心として重要 るドイツ語を学習することを通して、ドイツ語	
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、 また、聴き取り問題によってドイツ語の発	さらに練習問題の反復によって基本単語と 音に慣れることです。	キーセンテンスを身につけること。
授業到達目標		を定着させるとともに、実際にそれを活用し 語や表現でも、それを手掛りに短い文章の く説明できるようになることです。	
授業内容	び表現の基礎となる文法事項に即して自また、適宜聴き取り練習を行います。この授業で使用する教科書は10課からたり6ページで、その構成は次のとおりでテーマ(場面・言語行為)ドイツ事情(誘解テキスト)復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざまり、第15回目の授業(2月3日)まで1課も期試験を実施します。	でとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作け 分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手 成っており、ドイツ語Ⅳでは後半10課までを す。 等、楽しみながら言語を使う課題がありま ちたりおよそ3回の授業を充当します。第16	から情報を得る練習を行います。 終了する予定です。各課とも1課あ す。第1回目の授業は10月7日に始
	での授業で学んだ会話表現や文法事項を その内容を把握し、簡潔に記述できるかと	の口頭発表の結果(50%)で評価します。 「 に覚え、それらを含むテキストを聴き取り、I ごうか、2. 各回の授業の中で取り扱う場面 いて意思の疎通ができるかどうか、という観	Eしく書けるかどうか、また、同時に にふさわしい会話表現を覚え、表
キーワード	パートナー練習 聴き取り練習 状況に応	じた表現練習	
教科書·教材·参考書	[教科書]CD付き スツエーネン2 コン	パクト 佐藤・下田 三修社	
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ			

学習·教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

備考(準備学習等)	回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。		
(
▲ 戻る			

https://nuweb.jimu.nagasaki-u.ac.jp/syllabus2/syllabusReferenceContentsInit.do;LcSe... 2011/03/14